

中根・金田台地区マスタープランの考え方

住宅博開催エリア（32戸）

関東周辺の工務店の出展を求め、地域材を活用して次代のライフスタイルを提案する。

共有地（コモンスペース）

住民の共有地で開放的な環境を形成し、住民同士のコミュニティスペースとしても活躍するみんなの広場。



建築条件付分譲地エリア（32戸）

出展工務店による注文住宅の建設を進めるゾーン

集会所

コミュニティスペースとして緑地の管理活動拠点であり、四季折々の景観を楽しむスペース



展望並木道

里山に対して開かれた道路であり筑波山を借景し並木や各戸の緑、里山、農地の佇まいを楽しむ。

斜面緑地

住民の共有地で、街の景観となり日常を豊かにするスペース。緑化階段で農地や伝統集落につながる。住民と茨城県北の林業家との協働で新たな里山が生まれる。

